

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

本計画に基づき、予防的な修繕を行うことにより対象橋梁の長寿命化を図り、全体的な修繕・架替えに係る費用の縮減を行います。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

【様式1-2】による

6. 長寿命化修繕計画による効果

- ・従来の対処療法的な維持管理から、予防保全的な修繕を実施することで、橋梁の長寿命化が図られコスト縮減に繋がります。
- ・橋梁点検により現状を把握しながら適切な時期に適切な修繕工事を実施することで、橋梁の安全性が確保され、道路の機能が将来にわたって維持できます。
- ・橋梁の状態に応じた修繕計画を策定することで、予算配分の平準化・架替えピークの平準化が図れます。

7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

- 1) 計画策定担当部署  
北相木村役場 経済建設課 TEL0267-77-2111 (代)
- 2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者  
NPO法人 橋梁メンテナンス技術研究所  
理事長 三井 康司  
元信州大学工学部教授・工学博士